

## 熊本大学との高大連携事業パルスパワー実習、全日程終了！！

「パルスパワー実習」とは、平成20年度から理数科が熊本大学と取り組んでいる連携事業です。今年度は、7月から計4回の講義・実習を行い、9月11日に全日程が終了しました。



第1回目 7月13日

熊本大学パルスパワー研究所の王先生に来ていただき、パルスパワーについての講義をしていただきました。その後は、各班に分かれてテーマ設定・実験計画を立てました。

第2回目 8月1日  
この日は熊本大学に行き、事前に計画した実験を行いました。学生たちが、機械の使い方や実験方法などを教えてくださいました。



第3回目 9月6日  
熊本大学の学生による発表を聞き、スライドのまとめ方や話し方など、わかりやすい発表の仕方を学びました。



第4回 9月11日

これまでの実験実習をまとめ、各班の発表を行いました。全日程終了後には、王先生から修了証書(未来博士号)を授与されました。



【パルスパワーとは?】蓄えた電気を約1ナノ秒の短い時間に放出して、大きな電力を得ることができる技術。オゾンの生成、硫酸化物の処理、殺菌、コンクリート素材の分離など様々な分野に応用されている。

題字 濱崎 ゆきのさん(鮎田中出身 書道部二年)

# 西高新聞

発行 熊本西高校総務部 第55号

## 9月号

## 草取り大作戦

9月1日(土)の早朝より、『草取り大作戦』が実施されました。これは2学期を目前に控えた、清掃活動です。部活動生140名と保護者、職員をあわせて約240名の参加がありました。しかし、途中から雷が鳴るなど天候が急変し、屋内での活動に変更されました。そのような中でも全員で精一杯活動し、新学期を気持ちよく迎えらるよう頑張りました。



## 第32回AIG高校生外交官渡米プログラム



前方中央右が古江さん

本校英語部2年生の古江瑠月さん(鮎田中出身)が、このプログラムの40人のメンバーに全国から選ばれ、7月17日~8月8日の期間で、ワシントンDC、ニューヨーク、プリンストン大学等を訪問し、現地の高校生や大学生と、教育や政治、社会問題などについて議論しながら、様々な交流を行ってきました。留学生の友人が多い古江さんは、事前に移民問題について調査し、現地で議論を深めてきました。創立記念祭で報告します。

# 10月12・13日(金・土)は・・・

今年も創立記念祭の季節がやってきました!

10月12・13日の2日間で開催します。

皆様お誘い合わせの上、是非ご来校ください。

13日(土)はご来校いただいた

**中学生の皆さん先着50名に**

**フランクフルト・クレープ無料券をプレゼント!!**

# 創立記念祭!!





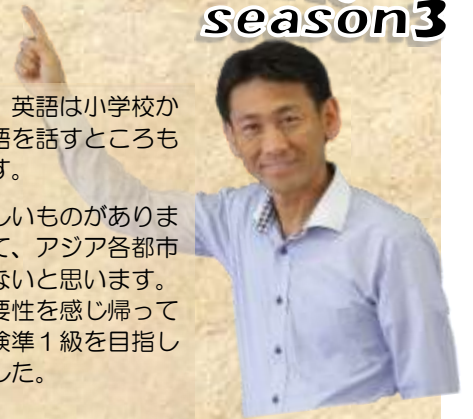
# ST川元の Let's enjoy English! season3

## 香港

先日、大学の農学部に進学した卒業生が訪ねて来てくれました。この夏、香港に研修旅行に行ってきたそうです。そこでは、インターンとしてレストランに入り、食品の流通を学んだそうです。彼女が驚いていたのは、香港の治安の良さと、海外のものでも良いものは積極的に取り入れようとする空気、そして英語力の高さだったそうです。香港はもともと広東語を話す地域ですが、さすがは国際都市です。過去にイギリスが統治していたということもありますが、今でも英語はビジネスでも観光で

も優先言語になっています。英語は小学校から学んでいて、家庭では英語を話すところも多くなってきているそうです。

アジアの経済成長は目覚ましいものがあります。アジアの中の日本として、アジア各都市の経済成長からは目が離せないと思います。卒業生は、香港で英語の重要性を感じ帰って来たようです。これから英検準1級を目指して頑張りたいと語っていました。



今回は西高保健室のお二人、ベテラン多田先生と、先日ご結婚されたばかりの大島先生をご紹介します。

## あつあつ熱ティー

Q：保健室って怪我や体調不良の時お世話になるところですよね。

多田：もちろんそれが保健室の一番大切な役割です。あと、生徒の悩みを聞くのも大切な仕事です。

大島：その他にも、健康診断の準備とか、統計とかの事務仕事もありますよ。

多田：西高は部活動が盛んだから、怪我で来室する割合が高いですね。気を付けなければ防げる怪我をしてきたときは、手当てしながら生徒に注意するようにしています。

Q：心がけていることはどんなことですか？

大島：保健室を出て行くときに、生徒の心が少しでも軽くなっているといいなと思っています。

多田：保健室は来やすい場所でないといけません、マナーを守って利用するように指導しています。体調不良の人が休んでいるのにふざけたり大きな声を出したりしないとか。そういう気遣いができることは大切です。

Q：どうして養護教諭になろうと思ったんですか？

多田：神に導かれました（笑）。生徒と接するのが楽しいんです。

大島：私は、学校の中で、気持ちの上でも居場所作りができればと思って、養護教諭を目指しました。

Q：お二人の趣味は？

多田：音楽を聴くことです。若い人が好きそうなのを聴いています。生徒と話が合うように（笑）

大島：旅行です。この間ハワイに行きました！ 京都のお寺とかも好きですね。

1000人もの生徒が集まる学校。お話を伺っている間にも、生徒が2人、保健室にやってきました。温かく対応する多田先生、大島先生。保健室は静かで落ち着いています。でもそれは、養護教諭お二人の努力に支えられているのだということが伝わってきました。



多田先生・大島先生

大切な人、貫いてきた信念。それらが奪われる。くずされる。そんな事があっても生きていける自分。



上野 寛人（天水中出身 美術部2年）

題「薨去」

## 美術部の作品集

### 予告

11月17日（土）  
**オープンスクール**  
**パート2**

たくさんのご参加

お待ちしております！！

※詳細は各中学校へ後日、送付いたします